



松田美枝さん 絵

第 227 回 例 会 1963.12.10 (火) 曇

例 会 場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
 事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

Person to Person
 Club to Club
 District to District

12月17日 (火) 映画興業について
 会員 長谷川君
 12月21日 (土) クリスマスパーター

○卓 話 欧米教育視察より帰つて
 小野寺忠氏

○出席報告

本日の出席	会員数 48名	欠席者	長谷川君、三浦君、大野君、菅原君、谷口君、津田君、鷺田君
出席	出席数 41名		
	出席率 85.42%		

前回の出席	前回出席率 83.33%	メンバー	安藤君 (東京R.C)
出席	修正出席数 41名	クラブ	
	確定出席率 85.42%	アップ	

○司 会 池 内 会 長

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○ゲスト 鶴岡市立第一中学校長
 小野寺忠氏

○ピジター

富樫又太郎君 (村上R.C)
 佐藤喜一郎君 (ク)
 中村 俊吾君 (秋田R.C)

○報告並びに連絡事項

○クリスマスパーティーは来る12月21日に行なうが、当クラブではその前後の例会即ち12月17日、24日、31日の例会は変更せず開催する。

○最近海外より特にオーストリーより屢々通信を受けている。これは今年度R.I会長C.Miller氏の国際親善の方針に基づくものであろう。

当クラブではその都度国際奉仕委員会の尽力により翻訳されその返信も作つて頂いている。

○鶴岡市社会福祉協議会の歳末助成運動の寄附については昨年同様金5,000円をスマイル箱から贈ることに決定した。(社会奉仕委員会)

○12月17日のクリスマスパーティーは17日時より17時半まで行なわれ、登録、終了時間は20時10の予定。参加申込並びに登録料は次回例会まで。

尚当日は銀婚式の祝賀も兼ねるので該当者は必ず奥様を同伴して頂きたい。(クリスマス準備委員会)

○卓 話

欧米教育視察より帰つて 小野寺 忠 氏

去る9月17日羽田を発ちハワイを経由し米国・英国・西ドイツ・スイス・仏国・イタリー等の教育状況を視察し更にアテネ・カイロを見物し、カラチ・バンコック・マニラを経て11月3日に帰国した。短期間であり表面だけをざらりと見て来た状況です。

総括的に言つて今回の旅行を通して感じたことは世界各国は挙げて教育競争をしていることです。例えば就学率では日本が世界一であるが義務教育の年限では米国は

12年、日本は9年、英国は10年、独逸は9年、仏国は8年となつているが各国は更に11~12年に延長しようとする傾向が見られた。

教育の内容では日本は世界の水準に達して居り理科や数学は米国よりも高いようで、欧州も米国より水準が高いようです。米国ではレベルアップを熱心に考えニューヨークのカリキュラムセンターでは2・3年にして程度の上昇を計画していた。施設については何んと云つても米国が最も完備して居り、科学技術の向上に重点置いた設備が行きとよんでいる。

学級の人数は米国では1学級20~30名、英国では30~35名、仏国では30~40名、独逸では35名位となつて居り先進国は大体30~40名が基準とされ、学童の数を少なくして教師の指導が1人1人の学童に行きわたるようにされている。また学級編成についても能力別編成が多くなり、3種別か或は5種別に分け学童の能力に応じた教育を行なう傾向となつて来た。

学校の規模については英国では1校600名以内にとゞめるようになって居り、人格を磨くことを第一義としていた。青少年の非行問題は世界に共通する問題として年令の低下や集団化には各国で頭痛のたねになっていた。原因については3つのSとか共稼ぎの影響とかが問題にされ、子供が罪を犯した場合その親を罰する案なども研究されていた。

米国では年金制度により老人はのんびり過ごしている者が多い反面、日本の家族制度についても真剣に研究しているようだ。日本でも家族制度につき悪い面は捨て良い面を尊重するような研究を進められたいものである。

○海外通信 オーストラリアの友から
親愛なるロータリアン池内方平氏へ

国際親善を拡大するR.I会長の方針に従い263地区のMULLUMBIMBYロータリークラブでは世界のロータリアンと文通することにした。私は貴殿を選んだ。それで私の事や私の住む狭い地域のことを御知らせする。私共のクラブは会員数32名で毎週の例会は火曜日です。

会長はPERCY SHEAFFE (Owner of a Motor Bus fleet) と云い幹事はALAN MORTLOCK (Ambulance Superintendent) さんです。私は前会長で職業分類は宗教、キリスト教です。私は長老教会の教師 (Presbyterian Minister of Religion) です。私と家内との間にPETER JOHNと云う1人の息子が居ります。彼は高校へ通つて居ります。

彼の将来は解りませんが彼は技術者になることを希望して居ります。そして彼は時々化学のことを話します。

MULLUMBIMBYは人口2,500人の小さな町です。此の町はオーストラリアのニューサウスウェールズの遙か北東の一角にあります。三方が山に囲まれて居り、東

へ6マイル行きますと大太平洋に臨みます。

主たる産業は酪農で住民の大部分が岡の傾斜を利用して、バナナを栽培して居ります。海岸は夏至つて平凡ですが波乗り (Snrfing) が一般的なスポーツで人によっては水上スキーを楽しんで居る者も居ります。

気候は温暖であるか時には暑いこともありますが酷暑と云う程ではありません。冬はそれ程寒くはありません。雨は多いので青々として居ります。私の家の周りには非常に広い庭があります。私共は庭いぢりが好きですので私も亦数種の蘭の栽培をやつて見て居ります。

以上述べましたことは当地方の一斑と私の生活を申し上げただけです。

私は貴殿からの手紙を貰い度い。貴殿と貴殿の家族のことについて最も興味あることをお聞きしたい。

何卒貴クラブ会員の皆さんに私共の挨拶と心からの願望を御伝え願ひ度い。そして貴殿からの御手紙を御待ちします。 敬具

NOEL C BELL

住 所

4 Tyagarah Street,
MULLUMBIMBY.

N. S. W. Australia

○幹事報告

○会報到着 東京、八戸、弘前東各R.C

○例会日並びに例会場臨時変更

・酒田R.C

12月25日の例会をクリスマスパーティーを兼ね12月20日(金)18時より清水屋に。

・山形R.C

12月18日(水)の例会を家族会のため同日後4.30より丸久デパート食堂に変更。

・大阪南R.C

12月31日の例会を28日(土)12.30より高島屋宴会場に変更。

○チャーター伝達式

・鈴鹿R.C

39年3月22日開催案内申込書到着す。

○事務所変更

・上ノ山R.C 上ノ山市鶴経町112菊屋ホテル内

○福島北R.Cよりバナーを贈られる。

○ニコニコ箱

御多忙につき遅刻して 渡部君

○本日の献立

焼あらまぎ、茶わんむし、味噌汁—とうふ、みつば
新香—べつたら漬